

安城市の 財政公表

令和6年度は、新たに第9次総合計画をスタートさせ、若い世代が将来に希望を持つことができ、安心して子どもを産み育てられるよう、子どもを育む「**しくみ**」「**ちから**」「**ばしょ**」という3つの重点戦略に基づき、未来への投資へとつながる施策を実行しました。

さらに、物価高への対策として、速やかに補正予算を編成し、国の定額減税への対応や物価高騰に直面する世帯への支援を図る等、市民生活の安定と地域経済の成長に取り組みました。

※令和7年度上半期の執行状況は市HP参照。



令和6年度決算 | 第9次総合計画に基づく施策を実施しつつ、健全財政を維持

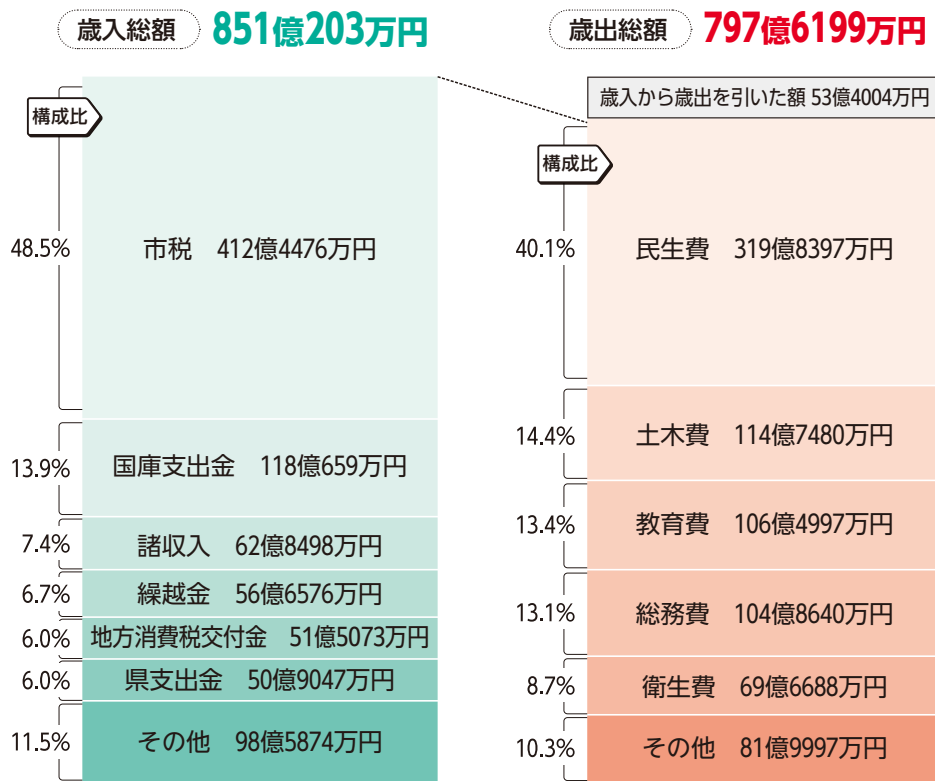
一般会計

収支は53億円の黒字になりました

市の支出を市民一人あたりに換算すると…

科目	金額
民生費	17万581
教育費	6万1199
土木費	5万6800
総務費	5万5928
衛生費	3万7157
その他	4万3733

※単位は円。
※令和7年3月31日時点の人口18万7500人で算出。



特別会計

※単位は円。

会計名(事業)	歳入	歳出
国民健康保険	150億1898万	144億1122万
土地取得	315万	242万
有料駐車場	3億5963万	2億5043万
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	5億491万	5億491万
介護保険	112億7533万	112億1606万
後期高齢者医療	31億3944万	31億2792万

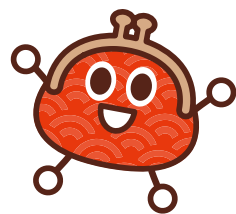
公営企業会計

※単位は円。

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業	34億3240万	29億7567万	5億1875万	13億2721万
下水道事業	31億8516万	30億8876万	14億5107万	28億4482万

資産(公有財産)

土地	268万2842㎡
建物(延べ面積)	55万2942㎡
有価証券	3270万円



一般会計

福祉や教育、道路整備等、行政の基本的な事業を行うための会計

特別会計

保険料や使用料等、事業内の独自の収入で運営している会計

公営企業会計

地方公共団体が経営する企業の会計

令和6年度に取り組んだ主な事業

図▶財政課(☎71)2275)

第9次総合計画「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の3つの重点戦略の「**しくみ**」「**ちから**」「**ばしょ**」に分けて、主な事業を紹介します。



小中学校給食費無償化事業【8億8275万円】

小中学校児童生徒の給食費無償化等を実施しました。



【その他】●結婚支援事業【1981万円】 ●子ども医療費助成事業【11億6404万円】等



デジタル人材育成推進事業【500万円】

地域で活躍できるデジタル人材の育成のため、高校生が身近な課題を見つけ、解決方法を考え、デジタル技術を活用したツールを制作し、成果発表を行いました。



【その他】●三河安城交流拠点推進事業【3221万円】 ●がんばる中小企業応援事業【1億415万円】等



地区防災計画策定支援事業【283万円】

災害発生時の地域課題を、地区住民等で話し合い、実際に取り組むべき対策や訓練を企画する地域防災計画の策定を支援しました。



【その他】

- 大型商業施設周辺交通対策事業【3億9261万円】
- 名鉄西尾線池浦篠目線他鉄道立体交差事業【2363万円】
- 地区公園基本構想策定事業【913万円】等

市の借金と貯金残高

※単位は円。

	会計	金額	前年度比
市債残高(市の借金)	一般会計	132億8782万	-13億9303万
	特別会計	0	-449万
	企業会計	141億4673万	-1億7421万
基金残高(市の貯金)	一般会計	345億5382万	+48億3957万
	特別会計	26億4973万	-31億2611万

財政力指数

1.27

行政サービスにかかる費用を市税等で賄える割合(指数が1を超えるほど自主財源の割合が高い)

※県内市町村平均0.97。

経常収支比率

87.5%

市税等の収入に対する経常的な行政コストの割合(比率が高いほど自由に使えるお金が少ない)

※全国市町村平均92.2%。